

専門分野

基礎看護学概論Ⅰ

科目責任者：高橋 かよ子

担 当 者：吉永 美代子

1 年 前 期 (1 単位) 30 時間

学習目標	1. 看護の主要概念である対象・健康・環境・看護について理解できる。 2. 看護の歴史的変遷について学ぶ。 3. さまざまな理論家による看護のとらえ方、看護の定義を学ぶ。
------	---

授業内容（シラバス）

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	看護の本質	・看護を学ぶにあたって ・看護の変遷 ・看護の定義：保健師助産師看護師法・日本看護協会・ICN/ANN	講義	吉永 美代子
2	看護の役割と機能	・看護理論家による定義：ナイチンゲール・ヘンダーソン・オーランド・ウイデンバック他 ・ケア・キュア・コア ・ケアリング実践の存在論 ・看護実践とその質保証に必要な要件 ・看護の役割・機能の拡大	講義	吉永 美代子
3	看護の継続性と連携	・看護における情報伝達と共有 ・多職種チームの連携と継続的かかわり ・在宅療養を支える連携と継続的かかわり	講義	吉永 美代子
4	看護の対象理解	・対象理解の基盤となる人体の構造と機能・病態生理 ・看護の使命と結びつくホメオスタシス	講義	吉永 美代子
5	看護の対象理解	・「こころ」と「からだ」 ・コーピング理論にみる人間の認知的評価と対処	講義	吉永 美代子
6	看護の対象理解	・患者心理の理解 ・対象者の「こころ」の理解に役だつさまざまな理論 ・ニード論（マズロー欲求段階説） ・危機理論	講義	吉永 美代子
7	人間理解	・身体的発達 ・心理・社会的側面における発達	講義	吉永 美代子
8	暮らしの理解	・生活者としての人間 ・看護の対象としての家族・集団・地域	講義	吉永 美代子

9	健康のとらえ方	・健康とはなにか ・健康でない状態とは ・障害とはなにか ・健康と生活	講義	吉永 美代子
10	国民の健康状態	・国民の健康の全体像 ・子どもの成長と健康 ・高齢者と介護	講義	吉永 美代子
11	国民のライフサイクル	・平均寿命と出生 ・結婚と出産・家族	講義	吉永 美代子
12	職業としての看護	・職業としての看護の始まり・確立・充実 ・職業としての看護の発展	講義	吉永 美代子
13	看護の提供者	・看護職の資格・養成制度・就業状況	講義	吉永 美代子
14	継続教育とキャリア開発	・看護における継続教育 ・専門看護師・認定看護師・認定看護管理者	講義	吉永 美代子
15	終講試験			吉永 美代子

評価基準：授業態度・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論 医学書院

実務経験について（吉永 美代子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	10年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

基礎看護学方法論Ⅰ

科目責任者：高橋 かよ子

担 当 者：竹村 眞理

1 年 前 期 (1 単位) 30 時間

学 習 目 標	1. 看護に必要な看護技術とはなにかを理解する。 2. 看護師に必要な感染防止の基礎的な知識を理解し、技術を習得できる。 3. 対象に必要な活動と休息の基礎的な知識を理解し、対象に応じた適切な技術を習得できる。 4. 対象に必要な苦痛の緩和・安全確保の基礎的な知識を理解し、対象に応じた適切な技術を習得できる。
---------	--

授業内容（シラバス）

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	看護技術	・看護技術とは ・技術の特徴・範囲 ・看護技術を適切に実践するための要素	講義	竹村 眞理
2	感染防止の技術	・感染とその予防の基礎知識	講義	竹村 眞理
3	感染防止の技術	・標準予防策（スタンダードプリコーション） ・感染経路別予防策	講義	竹村 眞理
4	感染防止の技術	・洗浄・消毒・滅菌 ・無菌操作 ・感染性廃棄物の取り扱い	講義	竹村 眞理
5	感染防止の技術	・感染防止の技術演習	講義・演習	竹村 眞理
6	感染防止の技術	・感染防止の技術演習 (針刺し事故の防止・事故後の対応含む)	講義・演習	竹村 眞理
7	活動と休息援助技術	・姿勢・体位・体位変換の基礎知識 ・ボディメカニクス	講義・演習	竹村 眞理
8	活動と休息援助技術	・活動の基礎知識・廃用症候群・褥瘡・関節可動域・ADL・IADL	講義	竹村 眞理
9	活動と休息援助技術	・体位変換援助の実際	演習	竹村 眞理
10	活動と休息援助技術	・移動（車椅子・ストレッチャー）	演習	竹村 眞理
11	活動と休息援助技術	・移動（車椅子・ストレッチャー）	演習	竹村 眞理
12	活動と休息援助技術	・休息・睡眠の基礎知識 ・レム睡眠・ノンレム睡眠・サーカディアンリズム	講義	竹村 眞理
13	苦痛の緩和技術	・看護技術における安全・安楽 ・基本的な体位、安楽な体位 ・精神的安寧を保つためのケア	講義・演習	竹村 眞理
14	苦痛の緩和技術	・電法の基礎知識 ・身体ケアを通じてもたらされる安楽 ・電法援助の実際（温電法・冷電法）	講義・演習	竹村 眞理
15	終講試験			竹村・齊藤

＊講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準：授業態度・演習への参加姿勢・課題・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院
根拠と医療事故から見た基礎・臨床看護技術 医学書院

実務経験について（竹村 眞理）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	19年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

基礎看護学方法論Ⅳ（日常生活援助技術２）

科目責任者：高橋 かよ子

担 当 者：三富 一十見

1 年 後 期 （1 単位） 30 時間

学習目標	1. 身体の清潔ケアの意義・衣類を用いることの意義が理解できる。 2. 皮膚および粘膜の構造と機能が理解できる。 3. 対象に応じた清潔援助に必要な技術が習得できる。 4. 対象に応じた衣生活に必要な技術が習得できる。
------	--

授業内容（シラバス）

回	項目	授業内容	教材・方法	担当
1	清潔・衣生活	・身体の清潔の意義 ・皮膚・粘膜の構造と機能 ・疾患時の清潔の重要性	講義	三富 一十見
2	清潔・衣生活	・衣類を用いることの意義 ・寝衣交換、持続輸液中の患者の寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄時の援助のポイント、実施前後の評価	講義	三富 一十見
3	清潔・衣生活	・口腔ケアの実際	演習	三富 一十見
4	清潔・衣生活	・手浴の実際	演習	三富 一十見
5	清潔・衣生活	・足浴の実際	演習	三富 一十見
6	清潔・衣生活	・足浴の実際	演習	三富 一十見
7	清潔・衣生活	・紙おむつを使った陰部洗浄、おむつ交換の実際	演習	三富 一十見
8	清潔・衣生活	・紙おむつを使った陰部洗浄、おむつ交換の実際	演習	三富 一十見
9	清潔・衣生活	・寝衣交換の実際	演習	三富 一十見
10	清潔・衣生活	・持続点滴中患者の寝衣交換の実際	演習	三富 一十見
11	清潔・衣生活	・全身清拭の実際	演習	三富 一十見
12	清潔・衣生活	・入浴、シャワー浴の実際	演習	三富 一十見
13	清潔・衣生活	・ケリーパッドを用いた洗髪の実際	演習	三富 一十見
14	清潔・衣生活	・ケリーパッドを用いた洗髪の実際	演習	三富 一十見
15	終講試験			三富 一十見

＊講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準：授業態度・演習への参加姿勢・課題・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院
根拠と医療事故から見た基礎・臨床看護技術 医学書院

実務経験について（三富 一十見）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	7 年	助産師・看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

地域・在宅看護論方法論Ⅲ

科目責任者：白井 薫

担当者：三枝よし子

2 年 後期（1 単位）30 時間

学習目標	1) 療養者やその家族を地域で暮らす人として捉え、生活の質を維持・向上（療養者及び家族が望む暮らしの実現）させていくために必要な看護について、事例展開を通して学ぶ。展開にあたっては家族を一単位として捉え、療養者及び家族が望む暮らしの実現に向けて、生活環境、価値観や意向、家族介護力や社会資源活用などアセスメントの視点を理解する。
------	--

授業内容（シラバス）

回	項目	授業内容	方法	担当
1	地域在宅看護を展開するための基本知識	地域在宅看護の特徴と看護の役割	講義・GW	三枝
2		地域在宅看護に関連する制度・多職種・関係機関	講義・GW	三枝
3	地域在宅看護（訪問看護）における看護過程の特徴	看護過程展開の概要	講義・GW	三枝
4		地域の特性と生活環境の理解	講義・GW	三枝
5		家族のアセスメント	講義・GW	三枝
6	事例展開Ⅰ	基本情報 価値観・信念、役割・関係性のアセスメント	講義・GW	三枝
7		健康知覚・健康管理・活動・運動（日常生活の自立度アセスメント	講義・GW	三枝
8		地域の生活環境・社会資源 暮らしのアセスメント・今後の方向性	講義・GW	三枝
9		全体像（関連図）と看護課題の明確化	講義・GW	三枝
10		看護計画立案	講義・GW	三枝
11		各事例について看護過程の展開	GW	三枝
12	事例展開Ⅱ	各事例について看護過程の展開		三枝
13		各事例について看護過程の展開・発表準備		三枝
14		事例展開の発表	発表	三枝
15	終講試験			三枝

授業では講義及び個人ワーク・グループワークを実施する。

授業への参加する前に、事前課題の実施が必要となる。

評価基準：出席状況・課題提出・グループワークでの態度・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の基盤 医学書院

系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の実践 医学書院

実務経験について

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6 年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

- ・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像を掻き立てるように行う。

専門分野

成人看護学方法論Ⅳ

科目責任者： 三枝 よし子

担 当 者： 吉永 美代子

2 年 後 期 (1 単位) 30 時間

学習目標	1. 慢性病を持つ患者の看護で、成人教育におけるセルフマネジメント支援が、理解できる。 2. 成人教育に関わる看護師の役割を理解できる。 3. 患者のセルフケア能力を高め行動変容できるためのプランが考えられる。
------	---

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	第7章慢性病と共に生きる人を支える看護 A 慢性病と共に生きる人の理解	1) 経過別看護の考え方 (1) 病気の区分・その経過 (2) 慢性期とは (3) 慢性期の特徴、疾患の経過と特徴 (4) 治療の基本：食事療法・薬物療法・運動療法他	講義 資料	吉永 美代子
2				
3				
4				
5				
	B 慢性病と共に生きる人を支える	2) 慢性病と慢性病を持つ人の特徴・慢性期の看護 ①セルフケアの援助 セルフケアとは コンプライアンス・自己効力感 ②受診・受診行動継続への援助 ③疾患受容への援助 ④サポートネットワーク ⑤家族への援助 3) 慢性病と共に生きる ①自己概念の変化②発達課題③慢性病と役割	教科書	
6		3. セルフマネジメントの支援 ①健康教育の「指導型」・「学習援助型」 エンパワメント ②セルフマネジメントとは ③セルフマネジメントを行う為の確認項目	資料 教科書	吉永 美代子
7		支持的援助：①直接的ケア②インタビュー ③カウンセリング④モニタリング ⑤調整⑥教育・指導		
8		事例を用いたセルフマネジメントの実際 (糖尿病予備群)	資料	
9				

10		事例を用いたセルフマネジメントの実際 ロールプレイを用いたセルフマネジメント 慢性病を持ったクライアントのセルフケアプランニング クライアントの行動変容ができるための計画 パンフレット作製	GW	吉永 美代子
11				吉永 美代子
12				吉永 美代子
13		発表 発表・まとめ	GW	吉永 美代子
14				吉永 美代子
15	終講試験	終講試験		吉永 美代子

評価基準： 授業態度、演習・グループワークへの参加度、課題、提出物、終講試験

教科書： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院
成人看護学③ セルフマネジメント ナーシング・グラフィック

参考図書： 慢性期看護論 ヌーベルヒロカワ

実務経験について（吉永 美代子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	10 年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

老年看護学方法論Ⅰ

科目責任者：三枝よし子

担当者：三枝よし子

2年 前期（1単位）30時間

学習目標	1) 加齢変化や高齢者特有の症状や疾病・機能障害の視点からのアセスメントに基づき、生活機能を整え、回復を促す看護について学ぶ。 2) 治療を必要とする高齢者の看護について学ぶ。 3) 人生の最終段階を生きる高齢者に対するエンドオブライフケアについて学ぶ。
------	---

授業内容（シラバス）

回	項目	授業内容	方法	担当
1	高齢者のヘルスアセスメント	身体の高齢変化とアセスメント	グループワーク	三枝
2		身体の高齢変化とアセスメント	グループワーク	三枝
3		身体の高齢変化とアセスメント	発表	三枝
4	認知機能障害のある高齢者の看護	うつ・せん妄・認知症のある高齢者の看護	講義	三枝
5	高齢者の生活機能を整える看護	高齢者体験	演習	三枝
6		高齢者とのコミュニケーション (視覚障害・聴覚障害・認知症のある高齢者とのかかわり)	講義	三枝
7		高齢者の排泄ケア（排泄障害：失禁・便秘）	講義	三枝
8		高齢者の排泄ケア（おむつ交換）	演習	三枝
9		日常生活を支える基本的活動 (ADL・IADL・転倒予防・廃用症候群)	講義	三枝
10		高齢者の食生活（嚥下障害・経管栄養）	講義 演習	三枝
11	健康逸脱からの	高齢者に多い症状と看護（睡眠障害・褥瘡）	講義	三枝
12	回復を促す看護	高齢者に多い疾患と看護（誤嚥性肺炎）	講義	三枝
13	治療を必要とする高齢者の看護	薬物療法を受ける高齢者の看護	講義	三枝
14	エンドオブライフケア	アドバンスケアプランニング 意思決定への支援	講義	三枝
15	終講試験	試験	試験	三枝

講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク・グループワークを実施する。

評価基準：出席状況・授業参加度・課題提出・終講試験

教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院

系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院

実務経験について（三枝 よし子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6 年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

小児看護学方法論 I

科目責任者： 竹村 眞理

担 当 者： 竹村 眞理

2年 前 期 (1単位) 30 時間

学習目標	1) 小児の心身の特徴を踏まえ健康障害をもつ小児と家族の援助技術を学ぶ。 2) 健康の保持増進・疾病予防および診療援助技術を学ぶ。
------	--

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	疾病・障害を持つ小児とその家族の看護	1. 小児の解剖生理学的身体の特徴および精神・社会的特徴 2. 小児期にみられる疾患について 3. 健康障害による生活への影響	講義	竹村 眞理
2	症状・生体機能の管理技術	バイタルサイン測定・身体計測 検体の採取・検査	DVD・講義	竹村 眞理
3	症状・生体機能の管理技術	発熱の看護・電法	講義	竹村 眞理
4	症状・生体機能の管理技術	輸液管理・水分出納の管理	DVD・講義	竹村 眞理
5	援助関係を形成する技術 環境を調整する技術	こども・家族との関係性、発達段階に応じたコミュニケーション	DVD・講義	竹村 眞理
6	日常生活援助技術	食事・排泄の援助	講義	竹村 眞理
7	日常生活援助技術	清潔・衣生活の援助	講義・演習	竹村 眞理
8	診察の援助技術	外来で行われる診療・予防接種・検診の援助、生活（療養）指導 虐待児への取り組み	講義・DVD	竹村 眞理
9	診察の援助技術	外来受診する子どもの援助、	講義・演習	竹村 眞理
10	呼吸・循環を整える技術	酸素療法・吸引・吸入・体位ドレナージ	DVD・講義	竹村 眞理
11	呼吸・循環を整える技術	人工呼吸器の管理・	DVD・講義	竹村 眞理
12	与薬の技術	経口与薬・座薬・注射	講義・演習	竹村 眞理
13	与薬の技術	点滴の刺入（再：輸液）・輸血管理	講義・演習	竹村 眞理
14	救命救急の技術	子どもの事故と予防、一次救命処置 災害時のこども支援	講義・DVD・演習	竹村 眞理
15	終講試験			竹村 眞理

※講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題、終講試験等について総合的に評価する。

教科書： 小児看護学概論・小児臨床看護総論 <小児看護学1> 医学書院.2025

小児臨床看護各論 <小児看護学2> 医学書院.2025

実務経験について（竹村 眞理）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	19 年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

母性看護学概論

科目責任者： 小野川 敏子

担 当 者： 小野川 敏子

1 年 後期(1 単位) 30 時間

学習目標	母子を取り巻く社会の現状と課題を理解し、母性看護の意義と役割を認識する。 地域社会における母子の生活を継続して援助するための母子保健医療チームを理解する。 性と生殖の意義を理解し、男女各期の性の健康と看護について理解する。 母性看護における生命倫理について考えることができる。
------	---

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	母性看護の主な概念	授業展開について 母性を取り巻く社会の状況 母性・父性、母性看護の概念	講義	小野川 敏子
2	母性看護の主な概念	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (社会的要因を含む) 家族の発達・機能	講義	小野川 敏子
3	母子の健康生活と法律・制度	母子保健の統計指標 母子保健法及び関係法規	講義	小野川 敏子
4	母子の健康生活と法律・制度	子育て支援施策 外国人妊産婦と家族への支援 災害時の妊産婦と家族への支援	講義	小野川 敏子
5	母性看護と倫理	対象の権利と擁護 自己決定の尊重 プライバシーの保護	講義	小野川 敏子
6	性の概念	性的健康の概念 セックス、ジェンダー、セクシュアリティ 人の発生・性的分化のメカニズム	講義	小野川 敏子
7	性と生殖の機能のメカニズム	性周期 性行動・性反応 受胎のメカニズム	講義	小野川 敏子
8	思春期女性の健康課題と看護	第二性徴 性意識・性行動の発達	講義	小野川 敏子
9	思春期女性の健康課題と看護	月経異常、性感染症（STD）	講義	小野川 敏子
10	成熟期女性の健康課題と看護	家族計画 不妊症、不育症	講義	小野川 敏子

11	成熟期女性の健康課題と看護	女性生殖器の疾患 性暴力、DV	講義	小野川 敏子
12	更年期・老年期女性の健康課題と看護	ホルモンの変化と閉経 更年期症状 骨盤臓器脱 老人性陰炎、外陰炎	講義	小野川 敏子
13	生命倫理	遺伝相談 出生前診断 着床前診断	講義	小野川 敏子
14	生命倫理	不妊治療と看護	講義	小野川 敏子
15	終講試験			小野川 敏子

※講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題、終講試験

教科書： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院

実務経験について（小野川敏子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	16 年	助産師・看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

精神看護学方法論Ⅱ

科目責任者： 吉永 美代子

担 当 者： 高橋 かよ子

2 年 後 期 (1 単位) 30 時間

学習目標	1. 精神看護実践における対象の理解、援助の原則が理解できる 2. 精神看護実践における対象のとらえ方と援助の原則を踏まえた看護の役割が理解できる 3. オレムアンダーウッド理論を用いた、統合失調症患者、うつ病患者の事例を用いた看護過程の展開ができる
------	---

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	教材・方法	担 当
1	精神看護実践	なぜ成育歴や家族背景に注目するのか ケアの前提	講義	高橋 かよ子
2		感情を通して自分を知り相手を知ること 自己一致 ケアをする相手を知ろうとすること ケアの原則 人としての尊厳を尊重する		
3	精神看護実践	精神科では無理という思い込み 言葉にならないメッセージに注目 ケアの方法 そばにいないこと「対象」となり 「環境」となること 遊ぶこととユーモア 沈黙の意味	講義	高橋 かよ子
4	精神看護実践	観察とアセスメントの方法 精神科アセスメント ケアの方向性	講義	高橋 かよ子
5	精神看護実践	看護計画のための情報整理 入院歴に対するアセスメントの視点 現在の患者の状態の把握 精神状態・身体症状 薬物療法・副作用 精神療法・作業療法	講義	高橋 かよ子
6	精神看護実践	これからの患者の可能性退院に向けての支援 とその実際 病院から地域へ 地域生活を支えるシステムと社会資源 地域移行支援・地域生活支援の基礎知識 早期退院支援と退院後の地域生活支援 退院支援体制の整備	講義	高橋 かよ子

7	退院支援	デイケア・訪問看護 それぞれの目的・機能・職種 自立支援医療（精神通院）	講義	高橋 かよ子
8	退院支援	障害者総合支援による様々な制度やサービス 就労移行支援	GW	高橋 かよ子
9	退院支援	受け持ち患者記録Ⅰ（データベース）	GW	高橋 かよ子
10		受け持ち患者記録Ⅱ		
11		（地域移行支援・地域生活支援アセスメント）		
12	退院支援	看護計画（回復プラン）	GW	高橋 かよ子
13	退院支援	退院支援計画書	GW	高橋 かよ子
14	便秘・尿閉の患者 への援助	摘便・グリセリン浣腸演習 膀胱留置カテーテル演習	演習	高橋 かよ子
15	終講試験			高橋 かよ子

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題、提出物、終講試験

教科書： 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の基礎 精神看護学① 医学書院
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学の展開 精神看護学② 医学書院
精神看護学—学生・患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版
系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院

実務経験について（高橋 かよ子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。

専門分野

看護の統合と実践Ⅳ

科目責任者： 高橋 かよ子

担 当 者： 高橋 かよ子

3 年 前期 (1 単位) 30 時間

学習目標	1) 複数患者の疾患を理解し優先順位を考えた看護計画を立案し、グループで実践できる 2) 看護実践中に起こった突発的事象に対して、対処方法を判断し実践できる 3) チームメンバーと協力し、事例に基づいた臨床判断ができる。 4) 統合実習に向けた自己の課題が分かり、ゴール（目標）が見いだせる
------	--

授業内容(シラバス)

回	項 目	授業内容	方 法	担 当
1	模擬病院づくり	・ 病院理念、看護部理念	GW	高橋 かよ子
2	看護実践の進め方	・ 2 事例看護実践の進め方 ・ 突発的な状況についての進め方	GW	高橋 かよ子
3	模擬病棟づくり	・ 2 事例の看護計画に基づいた看護実践	GW	高橋 かよ子
4	模擬病棟づくり	・ 2 事例の看護計画に基づいた看護実践	GW	高橋 かよ子
5	多重課題	・ 2 事例の看護計画に基づいた看護実践 演習課題Ⅰ・課題学習	GW・演習	高橋 かよ子
6	多重課題	・ 2 事例の看護計画に基づいた看護実践 演習課題Ⅰ・課題学習	GW・演習	高橋 かよ子
7	多重課題	・ 2 事例の看護計画に基づいた看護実践 演習課題Ⅱ・課題学習	GW・演習	高橋 かよ子
8	多重課題	・ 2 事例の看護計画に基づいた看護実践 演習課題Ⅱ・課題学習	GW・演習	高橋 かよ子
9	優先順位・時間配分	・ 突発的な状況に対する判断・優先順位	演習	高橋 かよ子
10	優先順位・時間配分	・ 突発的な状況に対する判断・優先順位	演習	高橋 かよ子
11	チームでの看護実践	・ 2 事例に基づいた臨床判断	演習	高橋 かよ子
12	チームでの看護実践	・ 2 事例に基づいた臨床判断	演習	高橋 かよ子
13	チームでの看護実践	・ 2 事例に基づいた臨床判断	演習	高橋 かよ子
14	チームでの看護実践	・ 2 事例に基づいた臨床判断	演習	高橋 かよ子
15	振り返り・まとめ	・ 看護の統合と実践Ⅲ・Ⅳ 振り返り、まとめ	講義・GW	高橋 かよ子

※講義では適宜、視聴覚教材を使用し、個人ワーク、グループワークを実施する。

評価基準： 授業態度、演習への参加姿勢、課題

教科書： 系統看護学講座 専門分野 循環器 成人看護学③ 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 呼吸器 成人看護学② 医学書院
 系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践② 医学書院

系統看護学講座	専門分野	老年看護学	医学書院
系統看護学講座	専門分野	老年看護病態・疾患論	医学書院
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術			医学書院

実務経験について（高橋 かよ子）

実務経験の有無	期間	実務経験を活かす資格
有	6 年	看護師

実務経験を活かした講義・指導方法

・教科書と現場との違いを含めて、教科書にある基本となるべき事項を踏まえた現場での対応等について説明することにより、学生の知的好奇心と就職後の業務の想像をかきたてるように行う。